

池袋第三小の 建替え等を考える会ニュース

平成24年2月
第3号

編集・発行：池袋第三小の建替え等を考える会

事務局：豊島区教育委員会事務局 教育総務部学校施設課

TEL: 03-3981-1143 E-mail: A0029257@city.toshima.lg.jp

URL: <http://www.city.toshima.lg.jp/kodomo/kyouiku/8381/022203.html>

今後の検討の参考にしますので、多くの意見をお寄せください。

池袋第三小建替え提言書策定に向けて

池袋第三小の建替え等を考える会は、池袋第三小学校の保護者や地域の皆さんと、区・教育委員会との協働により、「豊島区立池袋第三小学校建替え基本構想に関する提言書」の区への提言に向け、検討を重ねています。今年2月中には建替え提言書をまとめ、3月に区長への提言を行う予定です。

表・これまでの活動経過(平成23年10月以降)と今後の予定

回	開催日	協議事項	参加者
第8回	平成23年10月19日	○ 施設計画の検討 (グループワークショップ)	15名
第9回	平成23年11月9日	○ 施設計画の検討 (全体ワークショップ)	17名
第10回	平成23年12月7日	○ 施設計画の検討 ○ 建替え提言書たたき台の検討	15名
第11回	平成24年1月19日	○ 建替え提言書(案)の検討	15名
	平成24年1月31日	○ 地域説明会の開催	
第12回	平成24年2月21日	○ 建替え提言書の策定 ○ 区長提言について	
	平成24年3月26日	○ 区長へ提言書の提出	
	平成24年度	○ 基本設計	
	平成25年度	○ 実施設計	
	平成26～28年度	○ 建替え等工事	

ワークショップ形式で施設計画の検討を行いました



ワークショップでは建替えのコンセプト、基本方針、整備方針のほか、模型を用いた建物配置案を検討しました。

「池袋第三小の建替え等を考える会」では、皆様のご意見を広くお聞きし、建替え提言書に反映させるため、昨年7月に池袋第三小児童、保護者、教職員及び通学区内の区民の方々を対象にアンケート調査を行いました。

そして9月からは、アンケート調査も結果も踏まえながら、具体的な建替え提言書の内容に関わる施設計画検討ワークショップを開催し、検討の場としました。

「池袋第三小建替え提言書(案)」 の概要をご紹介します！

「池袋第三小の建替え等を考える会」では、一昨年12月の発足以来、先進事例の見学会や学校建築の専門家を招いての勉強会を行ったほか、建替えに関するアンケート調査を行いました。昨年9月からは施設計画検討のワークショップを行い、アンケート調査の結果も踏まえながら建替え提言書(案)を検討してまいりましたので、概要をご紹介します。

この建替え提言書については、池袋第三小学校保護者や地域の皆さんにご説明することで、さらによりよいものにしていくため、12月16日と1月31日に説明会を行いました。

説明会でいただいたご意見は、「建替え提言書」に反映させていただく予定です。



説明会のようす(平成23年12月16日)

1 私たちの思い 建替えのコンセプト

学校大好き 地域と共に
あふれる光そよぐ風 つながる緑ふれあう心
木の温もりに抱かれた楽しい居場所
豊かな緑に囲まれたみんなが使える地域の庭
しなやかな校舎 広い校庭 爽やかな緑 澄み渡る空
そんな学校をつくりたい

2 こんな学校にしたい 建替えの基本方針

(1) 楽しい居場所となる学び舎をつくる

- ・自発的な学習を誘発する空間構成に工夫する。
- ・ICT導入のインテリジェント校舎とする。
- ・家庭的な雰囲気のある教室をつくる。

(2) 地域のシンボルとなる景をつくる

- ・既存樹木等の緑を残すとともに、緑豊かな景観をつくる。
- ・学校と地域の伝統・歴史を取り入れたシンボル性を表現する。
- ・地域色を取り入れる。
- ・地域利用に開かれた学校とする。

(3) 安全・安心の装置をつくる

- ・防犯安全性を保つ見通しの良い校庭とする。
- ・セキュリティの高いシステムを構築する。
- ・車いす利用等に対応できるバリアフリー構造とする。
- ・優れた救援センター機能をもつ地域の防災拠点とする。

(4) 自然を活かし自然に親しむ環境をつくる

- ・自然光や風をうまく利用できる構造をつくる。
- ・省エネルギー、省資源に有効な構造や材料及び設備に配慮する。

(5) 十分な運動と催しに対応できる広さの校庭をつくる

- ・学校利用とともに、地域利用の利便性と交流を育む多面的な利用ができるように工夫する。
- ・地域の広場がないため、お祭りや商店街のイベントなどにも利用したい。そのため、地域にも使いやすい、できるだけ広い校庭となるように工夫する。

3 こんなふう zu 造りたい

建替えの施設整備方針

① 現状を残し、活用したいもの (基本方針(2)に該当)

- ・桜の木及び周囲の樹木
- ・正門のオブジェ
- ・二宮金次郎の像
- ・慈母ふくろうの像

② 周辺への配慮 (基本方針(2))

- ・学校改築に伴い環境が変わる、特に日影の影響等について周辺の居住環境に配慮する。
- ・道路境界部分においては、ベンチの設置や空地など住民へのサービス空間の配置に配慮する。
- ・池三池の再生を検討する。

③ 飛び地の活用 (基本方針(1),(5))

- ・飛び地に配置する施設として、プール、地域利用の多目的スペース、特別支援学級子どもスキップなどの組み合わせが考えられる。
- ・本体敷地と飛び地はデッキで結ぶなど一体的な活用を図りたい。

④ 校庭の広さを確保 (基本方針(5))

- ・高層化や地下利用による建築面積の縮小を図る。
- ・観覧席など校庭機能を補完するために、校庭に面する校舎1階部分を片持ち又はピロティ(建物の1階を柱だけ残し、吹き放しとする建築様式)形式とした半屋外空間の創出を図る。
- ・屋上階を校庭とする構成も考えられる。

⑤ デザインイメージ (基本方針(2))

- ・立教大学のレンガを地域カラーとしてとらえ、レンガの使用を工夫する。
- ・四角いビル型の建物ではなく、瓦屋根・庇や山小屋風など温かみと親しみのあるデザインに配慮する。
- ・校舎内は、木目調など温かみのある仕上げとする。
- ・メンテナンスしやすい施設とする。
- ・緑が多い、森のような学校となる工夫をする。

⑥ 省エネルギーへの対応 (基本方針(4))

- ・遮光カーテンや庇などにより、西日対策を取る。
- ・自然光が入る明るい校舎とする。
- ・風通しを良くする。
- ・普通教室にはバルコニーを設置する。
- ・屋上緑化、壁面緑化を積極的に導入する。

⑦ 地域の防災拠点としての構成 (基本方針(3))

- ・救援センター機能を確実に取り入れる。
- ・体育館は1階にあった方が利便性が高い。
- ・災害対策用マンホールトイレを設置する。
- ・災害対策用井戸の設置を検討する。

⑧ 校舎の構成 (基本方針(1))

- ・バリアフリー化されたつくりとする。
- ・図書室とコンピュータ室を複合化する。
- ・屋上利用を工夫する。
- ・校庭で野球ができるよう校舎側にもネットを設置する。
- ・駐輪場を設置する。
- ・敷地の外周にランニングできるコースを設ける。

⑨ 諸室 (基本方針(1))

- ・普通教室：教室と廊下は開閉できる透明な仕切りとする。
- ・図書室：読書に親しみを持てるような楽しい作りにする。
- ・トイレ：明るく、気持ちよいトイレとする。ウォッシュレット付きとする。
- ・ランチルーム：多目的に使うことに配慮し、できるだけ広くしたい。
- ・体育館：常設ステージを設置する。
- ・プール：地域開放できる通年利用型を検討する。
- ・PTA室：冷暖房設備及びパソコンを設置する。

⑩ 設備 (基本方針(1),(3),(4))

- ・体育館を含め、冷暖房設備を検討する。
- ・防犯カメラを設置する。
- ・校庭を土とした場合は、埃防止と温度上昇を防ぐために噴霧器を設置する。
- ・最新のICT機器を導入する。

⑪ 地域利用 (基本方針(2),(5))

- ・多様な地域活動が可能な校庭開放とする。
- ・地域開放の施設として、体育館、図書室、ランチルーム、PTA室のほか、多目的な地域スペースの設置を検討する。
- ・地域利用の更衣室、運動用器具庫のほか、町会で使う道具入れを設置する。

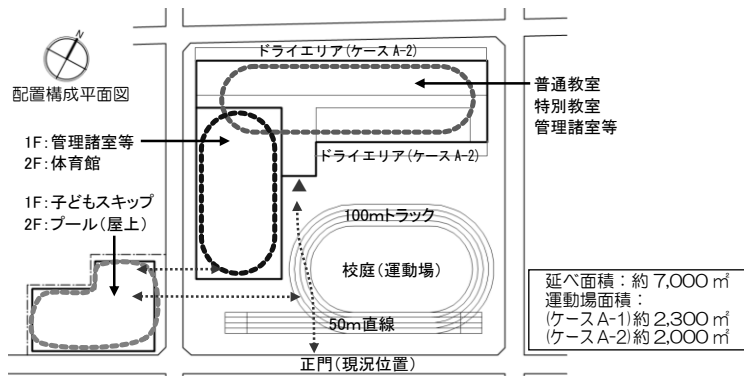
4 建替えの建物配置想定

施設配置等に関して、4つの配置案を想定し、模型を使った検討を行いました。特に以下の点を重視して検討しました。

- ・校庭(運動場)をできるだけ広く確保する施設計画、配置計画に配慮すること。
- ・日影や圧迫感など近隣住環境に与える影響に配慮すること。
- ・既存樹木をできるだけ残すこと。
- ・飛び地を有効に活用するとともに、校舎との使いやすい動線に配慮すること。
- ・敷地が正方形に近いため、同一形態プランでも4通りの配置が可能となる。教室の室内環境と周辺への影響に配慮し、配置を検討すること。
- ・校地が狭い学校で、施設標準施設標準(諸室、規模、箇所数)の全てを確保すべきか再度検討すること。

(配置案の検討は次のページより)

■ケースA-1（地上4階建て）・ケースA-2（地下1階、地上3階建て）



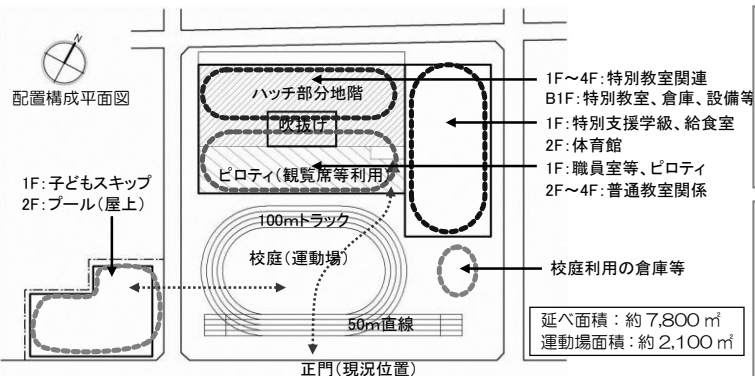
【空間構成・配置の特徴】

- 校舎配置は現況に近いL型。
- 地上4階建てとした「ケースA-1」と地下1階を設け、地上部を3階建てとした「ケースA-2」を想定。
- 運動場面積は現状よりもやや広い。

【課題】

- 運動場のトラック配置に余裕がもちにくい。
- ケースA-2は地下を設けているため工事費が割高になる。また、ドライエリアが必要となるため運動場面積が減少する。

■ケースB（地下1階、地上4階建て）



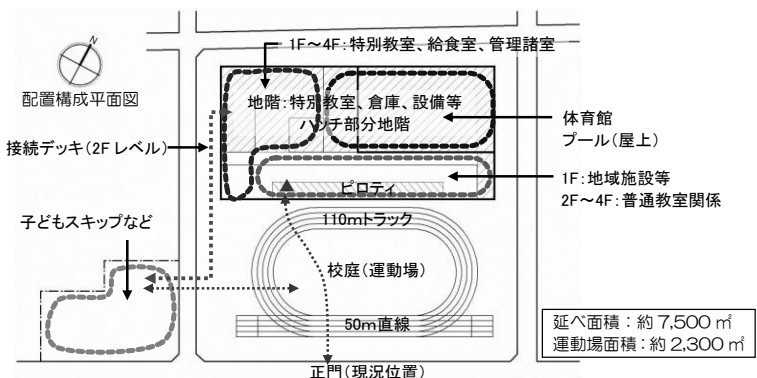
【空間構成・配置の特徴】

- 各学年単元に多目的スペースを確保した校舎内レイアウトを想定。
- 校庭側をピロティとして観覧席など校庭機能の分担を可能としている。

【課題】

- プールを飛び地に配置しているため、校舎を北側に配置した場合、行き来到校庭を通る。
- 体育館は2階となっている。
- 運動場面積は現状と同程度。

■ケースC（地下1階、地上4階建て）



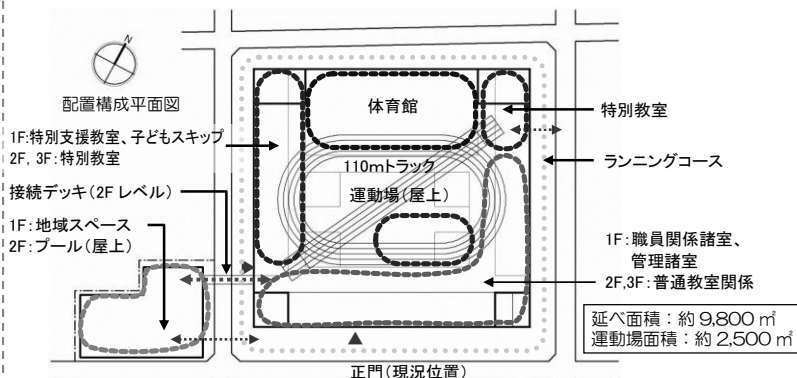
【空間構成・配置の特徴】

- 校舎形状を工夫し、校庭の形状をシンプルにすることでトラックの直線部を長く取ることができる。
- 校庭側の一部をピロティとして校庭利用の観覧席機能を分担する。
- 体育館を1階に配置。

【課題】

- 職員関係諸室が同一階に入らない。
- 地下部分があり整備費が割高になる。

■ケースD（地上3階建て）



【空間構成・配置の特徴】

- 諸室を口の字型に配置し、全体を屋根で覆い、その屋上を運動場とするモデルである。
- 建物回りに周回できるランニングコースが設置できる
- 体育館を1階に配置。

【課題】

- 建物中央部分に不必要な空間が生じ、延べ面積が大きくなるため工事費が増大する。
- 運動場が4階レベルにあるため、地域利用や防災利用(救援センター)に支障がある。

●池袋第三小の建替え等を考える会事務局では随時、皆さまからのご意見・ご要望を受け付けております。今後の計画づくりの参考にしたいと思っておりますので、ご意見・ご要望等がありましたら下記電話・Eメールアドレスまでお寄せ下さい。

【豊島区教育委員会事務局 教育総務部学校施設課】 TEL:03-3981-1143 E-mail:A0029257@city.toshima.lg.jp

ホームページ URL: <http://www.city.toshima.lg.jp/kodomo/kyouiku/8381/022203.html>